

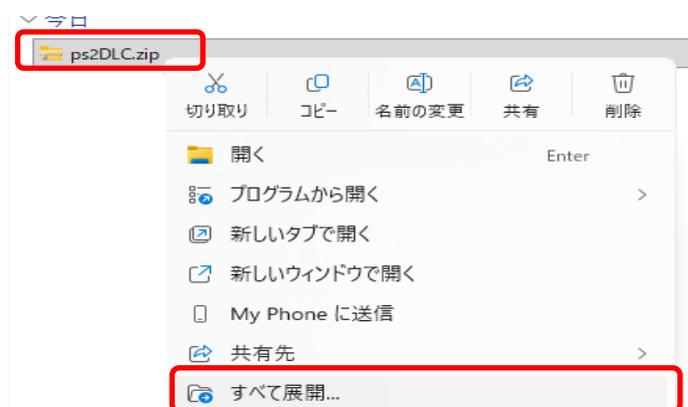
インストール時にPowerShell2.0のメッセージが表示される場合の対処方法

Windows11 PCにおいて、WindowsからPowerShell2.0が削除されたことにより、SQLServer2014以下のバージョンを使用したソフトにて、SQLServerのインストールに失敗します。



【対処方法】

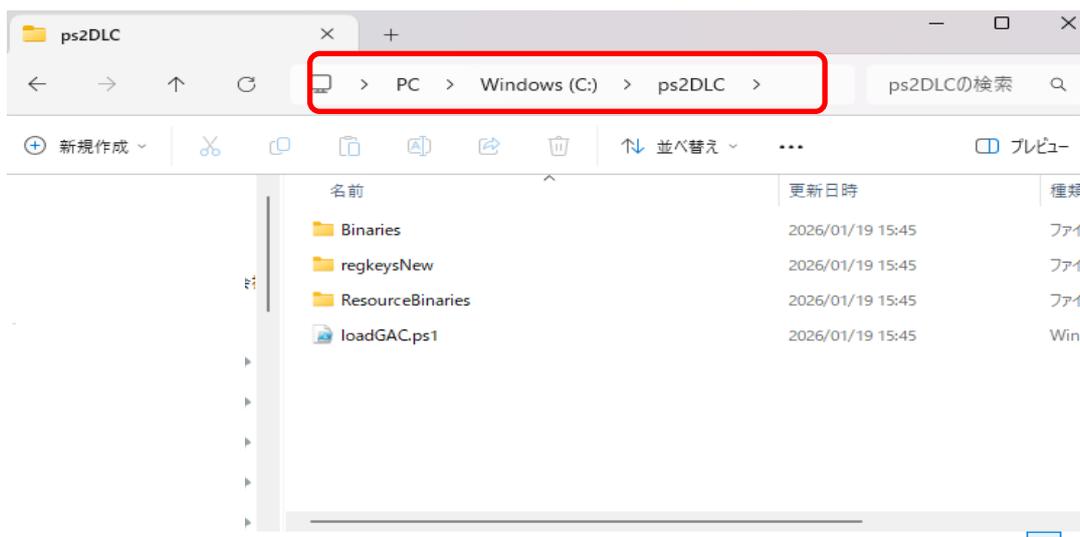
- ① 以下のMicrosoftのURLより、PowerShell2.0有効化用のファイルをダウンロードします。
<https://download.microsoft.com/download/2b37839b-e146-465a-a78c-c9066609c553/ps2DLC.zip>
- ② ①のファイルを展開します。
ダウンロードしたファイルを右クリックし、すべて展開 を押下します。



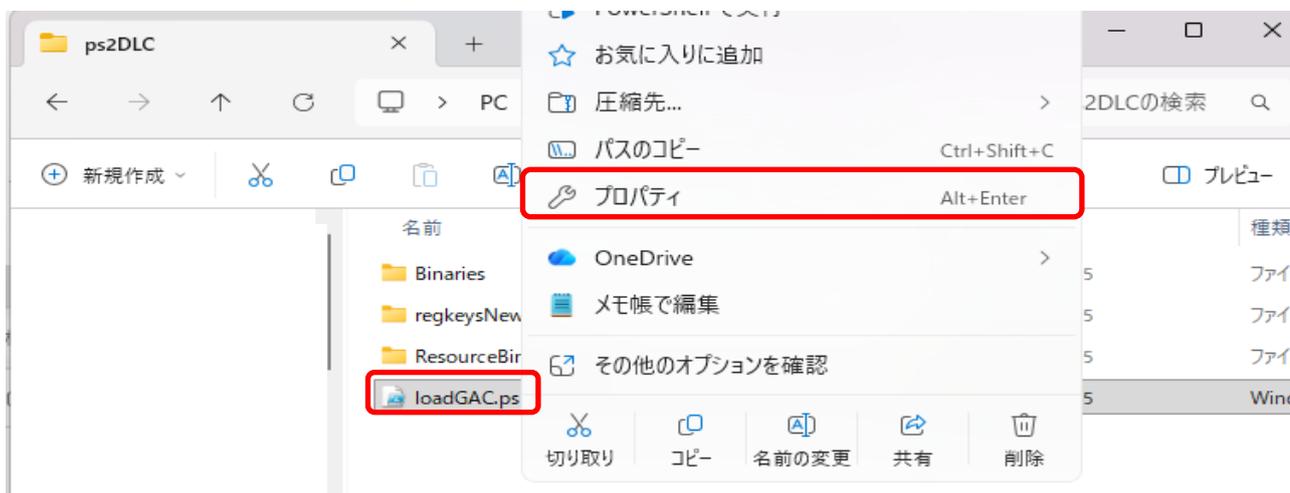
- ③ 展開先を C:\ に設定いただき、展開を実行してください。



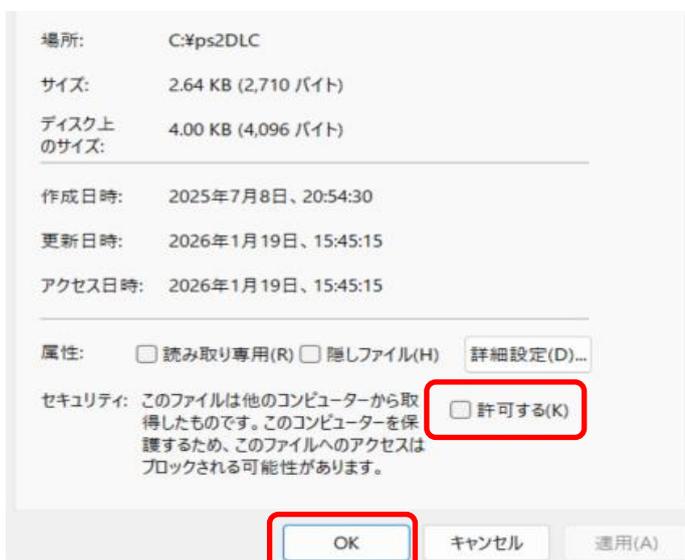
- ④ Cドライブに展開された ps2DLCフォルダを開きます。



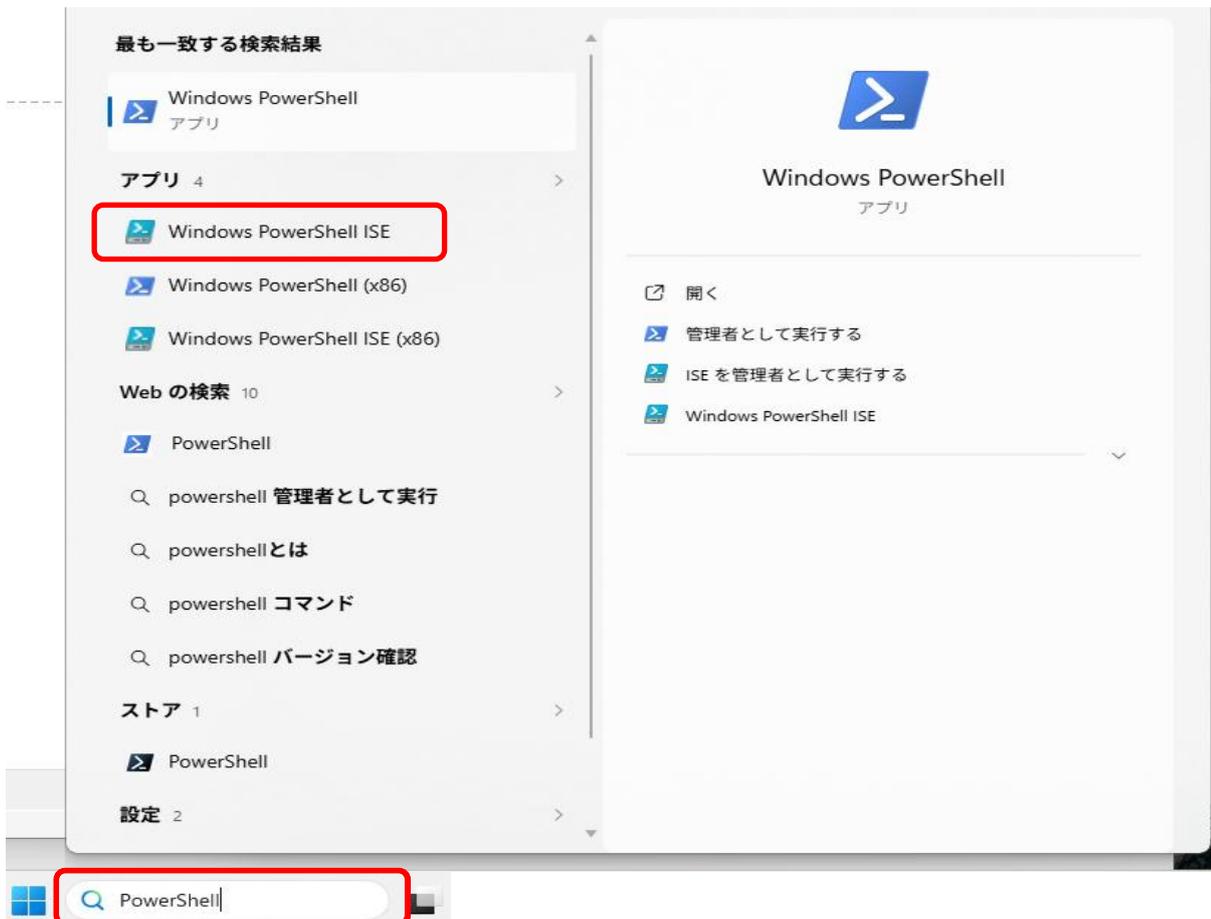
- ⑤ loadGAC.ps1 を右クリックし、プロパティを開きます。



- ⑥ セキュリティの警告が出ている場合には、許可するにチェックをつけていただき、OKを押下してください。

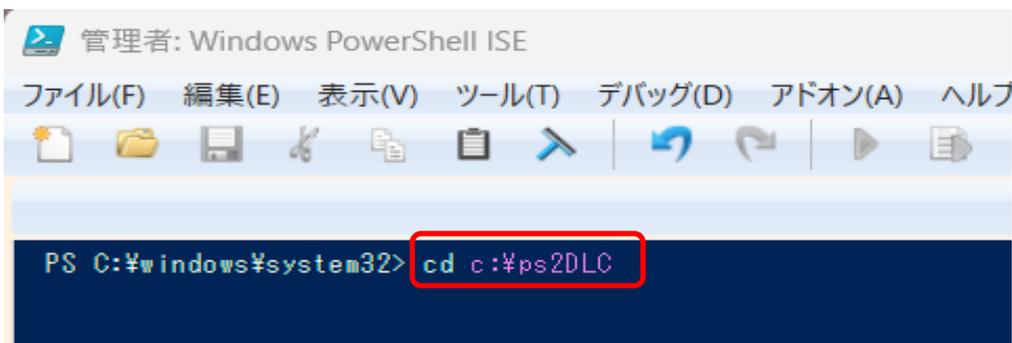


- ⑦ Windowsの検索窓に **PowerShell** と入力いただき、検索を行います。
Windows PowerShell ISE を右クリックし、**管理者として実行**します。



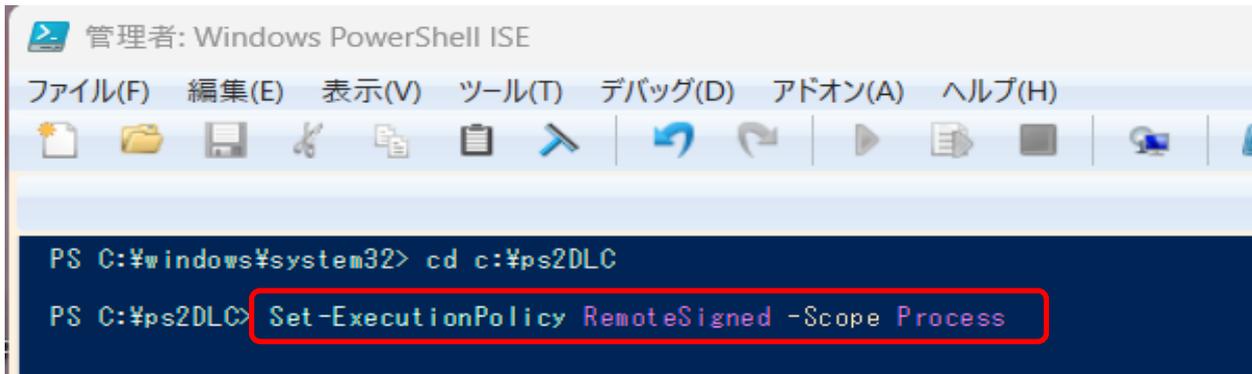
- ⑧ 以下の文字列を入力してエンターキーを押下してください。

cd c:%ps2DLC



- ⑨ 以下の文字列を入力してエンターキーを押下してください。

```
Set-ExecutionPolicy RemoteSigned -Scope Process
```



※実行ポリシーの変更画面が表示される場合には、すべて続行を押下してください。



- ⑩ 以下の文字列を入力してエンターキーを押下してください。

```
.\¥loadGAC.ps1
```

※¥マークの前に . (ドット) がありますので、こちらも含み入力してください。

